
四月で私は高校生になります

山羊ノ宮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

四月で私は高校生になります

【Nコード】

N7913K

【作者名】

山羊ノ宮

【あらすじ】

私は恋をしました。

彼は大人の男の人で、中学生の私とは全く接点がありませんでした。

私は恋をしました。

彼は大人の男の人で、中学生の私とは全く接点がありませんでした。ただ朝の通学路で、駅の近くの中学に行くまで一緒にいるだけ。それだけの関係です。

話しかけたりもしません。

何を話して良いかも分かりません。

私にはただ彼の事が好きだと言うことぐらいしか分かっていないのです。

朝、彼が猫背でとぼとぼ歩いていると『頑張って』と声をかけなくなります。

辛い時、あの背中を思い出すと『私も頑張ろう』と思えます。

彼はどんなふうに話すのだろう、彼はどんなふうに笑うのだろう、彼の眼鏡を外したらどんな顔になるだろうとか、妄想していると自然と頬が緩みます。

よくその事で親や友人に注意されます。

私のにやけ顔はどうやら気持ち悪いらしいのです。

失礼な話です。

こんな私ですが、どうにか頑張って彼と接点を持とうと頑張っています。

挨拶したり、話しかけたりは声が震えて、言葉になりません。

そうでなくとも私は相手に気持ちを伝えるのが下手なのです。

なので、私は手紙を書くことにしました。

文字が丸くなってしまつと、子供っぽいかと思って頑張って直しています。

手紙を書く練習に、沢山詩とか物語を書いてみました。

あまり上達したとは思えません。

けれど、文才がないのがよく分かったので、ストレートに気持ちを

伝えた方がいいのかなと思いました。

『好きです』

その四文字を書く度に手は汗ばみ、震えます。

私は意気地無しです。

だから手紙も結局渡せず仕舞いです。

いつも後ろから彼の猫背を眺めるだけです。

でも、今日決心しました。

彼に思いのたけを綴った手紙を渡します。

どうなるか想像しただけで私の胸はいっぱいになって、はち切れそうです。

心臓痛くて死にそうです。

でも、きっと私は彼に手紙を渡せます。

だって今までずっとこの時が来るのを待っていたのだから。

四月で私は高校生になります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7913k/>

四月で私は高校生になります

2010年10月10日17時07分発行